

とうきょうすくわくプログラム

活動報告書



1. 活動のテーマ

＜テーマ＞

食育 畑体験

＜テーマの設定理由＞

日頃から身近で大切な「食」に注目し、「食育」×「畑体験」をテーマとし、実際に畑に出向いている講師とオンラインで対話をしながら、映像や写真で育っていく野菜の様子をすることで、自然体験の探求を行う。「神秘さ」「不思議さ」に注目し、様々な感情を呼び起こすことで、その対象についてもっと知りたいと思うようになるセンス・オブ・ワンダーを育む。

2. 活動スケジュール

2025 年 1 月、3 月

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

プロジェクター

農家さんへの質問を考えておく

4. 探究活動の実践

＜活動の内容＞

〃冬の畑を中継。

1 月 冬の畑で育てている野菜について

大根の収穫（その大根が園に郵送され、みずみずしい生の大根と塩を振った大根の食べ比べ）

じゃがいもの植え付けの見学 クイズ・質問コーナー

3 月 冬の畑で育てている野菜について

トマトについて

しいたけの原木について クイズ・質問コーナー

〃

＜活動中のこどもの姿・声、こども同士や保育者との関わり＞

こどもたちは積極的に手を挙げ質問をしていた。「みどりいろのやさいがおいしいのはどうして?」「きゅうりをたべるとシャリってというのはどうして?」など。農家の方にこどもたちに分かりやすいよう答えていただいた。保育者もこどもたちのどうしてや答えに共感し、様々な映像を通し一緒に学んだ。トマトについてのクイズがあったので、活動後は図鑑をみて確認したり、図鑑をみて活動を思い出したりすることもあった。

5. 振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

こどもたちは映像を食い入るように見て質問をしていた。身近な「食」に関するテーマであったこともイメージがしやすく良かったのだと思う。冬の畑は、他の季節と違い収穫できるものが少なく、オンライン中継が上手くいくか心配であったが、こどもたちは目の前のことに興味を持ち想像を膨らませることが、保育者が思っているよりもできる。遊びや学びの中で今まで以上に様々事象を提供していきたいと思った。

コンビプラザ駒込ちどり保育園